平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日

上場会社名　　株式会社　ムサシ　　上場取引所　東
コード番号　　7521　　ＵＲＬ　http://www.musashinet.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）羽鳥　雅孝
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役財務部長　　（氏名）青坂　修司　　ＴＥＬ　03-3546-7710

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月13日　　配当支払開始予定日　平成25年12月16日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	18,273	8.5	972	－	1,006	－	564	－
25年３月期第２四半期	16,849	△11.2	△26	－	28	△95.5	△322	－

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　738百万円（－%）　25年３月期第２四半期　△384百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	73.33	－
25年３月期第２四半期	△40.59	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	38,778	24,556	63.3
25年３月期	40,254	24,544	61.0

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　24,556百万円　25年３月期　24,544百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	10.00	－	20.00	30.00
26年３月期	－	15.00			
26年３月期（予想）			－	10.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
平成26年３月期第２四半期末配当金については、本日（平成25年11月12日）公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。
平成26年３月期第２四半期末配当金の内訳　普通配当　10円00銭　特別配当　5円00銭

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,883	0.1	1,451	△9.5	1,526	△15.1	903	12.7	119.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	7,950,000株	25年３月期	7,950,000株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	506,398株	25年３月期	6,398株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	7,693,602株	25年３月期２Ｑ	7,943,865株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融対策を背景に円高是正や株価上昇が進み、景気回復に向けた一定の動きが見られましたが、新興国経済の成長鈍化や欧州経済低迷の長期化など、海外の不安定な経済情勢が与える影響が懸念され、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各事業の概況は以下の通りであります。

（情報・印刷・産業システム機材）

情報システム機材は、文書のデジタル化業務の受注が、顧客の投資抑制や単価下落などの影響を受けたほか、大口の受注が減少したため落ち込みました。また、スキャナーなどドキュメントの電子化機器の販売も高額商品を中心に減少しました。

印刷システム機材は、印刷需要の低迷状況が続く中、印刷材料の販売は概ね順調に推移しましたが、顧客の設備投資の冷え込みにより印刷機器の販売が落ち込んだため、若干低調に推移いたしました。

（金融汎用・選挙システム機材）

金融汎用システム機材は、金融機関における機器の更新需要低迷の影響を受けたものの、一部の貨幣処理機器やセキュリティ機器の販売に伸長が見られたため、概ね順調に推移いたしました。

選挙システム機材は、７月に実施された参議院選挙向けを中心に各種機材・システムの販売が好調に推移いたしました。

（紙・紙加工品）

紙・紙加工品は、高級紙器用板紙の販売が若干落ち込んだものの、オリジナル商品である感光材料包装紙や広告媒体向けの印刷用紙の販売が伸長したため、概ね順調に推移いたしました。

（不動産賃貸・リース事業等）

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高182億73百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益９億72百万円（前年同四半期は営業損失26百万円）、経常利益10億６百万円（前年同四半期は経常利益28百万円）、四半期純利益５億64百万円（前年同四半期は四半期純損失３億22百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は284億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億69百万円減少いたしました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（15億61百万円）、現金及び預金の減少（86百万円）であります。固定資産は、103億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億93百万円増加いたしました。増加の主な要因は、投資有価証券の増加（２億79百万円）、減少の主な要因は、有形固定資産の減少（53百万円）、無形固定資産の減少（16百万円）であります。

この結果、総資産は、387億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億75百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は122億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億30百万円減少いたしました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（11億21百万円）、未払法人税等の減少（１億43百万円）であります。固定負債は19億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億57百万円減少いたしました。減少の主な要因は、固定負債の「その他」の減少（１億５百万円）及び役員退職慰労引当金の減少（52百万円）であります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は245億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。増加の主な要因は、四半期純利益５億64百万円及びその他有価証券評価差額金の増加（１億74百万円）、減少の主な要因は、剰余金の配当１億58百万円及び自己株式の増加（５億68百万円）によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.3%（前連結会計年度末は61.0%）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は前連結会計年度末に比べ６億86百万円減少し、155億59百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は７億34百万円となりました。（前年同期は１億65百万円の資金使用）

これは、税金等調整前四半期純利益９億93百万円、売上債権の減少15億59百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少11億21百万円、法人税等の支払額４億56百万円、営業活動におけるその他の支出２億87百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は６億81百万円となりました。（前年同期は42百万円の資金獲得）

これは、定期預金の預入による支出６億円、有形固定資産の取得等による支出85百万円等の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は７億41百万円となりました。（前年同期は81百万円の資金使用）

これは、自己株式の取得による支出５億90百万円、配当金の支払１億58百万円等の支出によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期累計期間の業績が、特に情報・印刷・産業システム機材セグメントにおける厳しい事業環境により予想を下回る結果となったことを鑑み、通期の連結業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成25年11月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,935	16,849
受取手形及び売掛金	10,436	8,874
商品及び製品	1,394	1,492
仕掛品	55	65
原材料及び貯蔵品	578	516
その他	736	661
貸倒引当金	△28	△22
流動資産合計	30,108	28,438
固定資産		
有形固定資産	3,529	3,476
無形固定資産	97	81
投資その他の資産	6,518	6,781
固定資産合計	10,145	10,339
資産合計	40,254	38,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,225	7,103
短期借入金	3,512	3,521
未払法人税等	459	316
賞与引当金	386	377
製品保証引当金	45	－
受注損失引当金	34	17
その他	906	903
流動負債合計	13,569	12,239
固定負債		
退職給付引当金	201	201
役員退職慰労引当金	934	882
その他	1,003	898
固定負債合計	2,139	1,982
負債合計	15,709	14,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	21,061	21,466
自己株式	△8	△576
株主資本合計	24,266	24,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	278	452
その他の包括利益累計額合計	278	452
純資産合計	24,544	24,556
負債純資産合計	40,254	38,778

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	16,849	18,273
売上原価	13,631	14,129
売上総利益	3,218	4,144
販売費及び一般管理費	3,244	3,172
営業利益又は営業損失（△）	△26	972
営業外収益		
受取利息	23	19
受取配当金	23	27
貸倒引当金戻入額	7	3
その他	44	33
営業外収益合計	98	83
営業外費用		
支払利息	19	18
持分法による投資損失	19	7
自己株式取得費用	－	22
その他	3	0
営業外費用合計	42	49
経常利益	28	1,006
特別利益		
固定資産売却益	1	－
特別利益合計	1	－
特別損失		
固定資産除却損	1	12
投資有価証券売却損	0	－
投資有価証券評価損	37	－
会員権売却損	1	0
会員権評価損	7	－
減損損失	247	－
特別損失合計	295	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△265	993
法人税、住民税及び事業税	54	312
法人税等調整額	2	117
法人税等合計	57	429
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△322	564
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△322	564

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△322	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58	173
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	0
その他の包括利益合計	△61	174
四半期包括利益	△384	738
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△384	738

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△265	993
減価償却費	165	152
減損損失	247	－
投資有価証券売却損益（△は益）	0	－
投資有価証券評価損益（△は益）	37	－
固定資産除却損	1	12
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△7	△3
賞与引当金の増減額（△は減少）	△39	△9
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△27	△45
受注損失引当金の増減額（△は減少）	－	△16
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△16	0
前払年金費用の増減額（△は増加）	29	△7
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	36	△52
受取利息及び受取配当金	△46	△46
支払利息	19	18
為替差損益（△は益）	2	△2
持分法による投資損益（△は益）	19	7
有形固定資産売却損益（△は益）	△1	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,195	1,559
たな卸資産の増減額（△は増加）	△346	△43
その他の流動資産の増減額（△は増加）	94	62
仕入債務の増減額（△は減少）	△920	△1,121
未払金の増減額（△は減少）	△27	△34
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△51	25
その他	△315	△287
小計	△215	1,162
利息及び配当金の受取額	47	46
利息の支払額	△20	△18
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	23	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	△165	734

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△600
有価証券の売却及び償還による収入	100	－
有形固定資産の取得による支出	△156	△85
有形固定資産の売却による収入	5	－
無形固定資産の取得による支出	△2	△5
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	6	－
貸付けによる支出	－	△1
貸付金の回収による収入	0	3
その他	91	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	42	△681
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	9
自己株式の取得による支出	△0	△590
配当金の支払額	△79	△158
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81	△741
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△206	△686
現金及び現金同等物の期首残高	14,483	16,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,276	15,559

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	不動産賃貸・リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,856	1,688	3,188	115	16,849	－	16,849
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	－	128	128	△128	－
計	11,857	1,688	3,188	244	16,978	△128	16,849
セグメント利益又は損失（△）	136	△260	7	87	△28	1	△26

（注）１．　セグメント間取引消去であります。

２．　セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「不動産賃貸・リース事業等」セグメントにおいて賃貸駐車場（土地）について、地価の下落により減損の兆候が認められたため、当該土地に係る回収可能性を検討した結果、当第２四半期連結累計期間において減損損失を特別損失として247百万円計上しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	不動産賃貸・リース事業等（注）３	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,983	4,044	3,135	111	18,273	－	18,273
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	－	127	129	△129	－
計	10,985	4,044	3,135	238	18,403	△129	18,273
セグメント利益又は損失（△）	△5	887	8	79	970	1	972

（注）１．　セグメント間取引消去であります。

２．　セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．　第１四半期連結会計期間より、「その他」と表示していた報告セグメントは、その主要な事業内容を明示するため「不動産賃貸・リース事業等」に変更いたしました。
なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。
これに伴い、前第２四半期連結累計期間につきましても、当第２四半期連結累計期間と同様に「不動産賃貸・リース事業等」と記載しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。